

# 藝園草叢

秋植苗木球根類  
特集号

東京支店 沖縄本店 横内一〇六六

中央研究農場



# 果樹苗木の植え方にについて



急傾斜地(45度)において階段式にテラスを作つた

## ブドウ栽培の状況

苗木の植付けには老木園の更新と新植の二つの場合があります。老木の更新は一般に手入が行き届かず、病気や害虫の被害を受けて反収が上らぬから若木と更新しようという場合が多いのです。従つて新苗木の植付に当つては古根の掘取り、その他被害部の除去を完全に行って、

## 一 苗木を植付け

果樹の植付時に當つて参考になると思われる諸点を拾つて書くことに致します。

一年生の蔬菜類ならば例え作付を誤つても損失は一年だけで済みましよう。しかし果樹のように多年生で、しかも木本といふことになれば果実を着けるのに短くて三、四年長いものでは十年の歳月を要します。

従つて植付の際に品種の選択を誤つたり、素性の良くない苗木を買ひ込んだような場合は、結果期までの長い年月を無駄にする訳でその損失は極めて莫大なものです。更に苗木の選択が十分行われても植付の方法が悪ければ樹の発育が不良で結果期に至るのが遅れ、またこのような樹で生産される果実は収量が少く、品質も落ちるものであります。このように考えれば果樹植付時の失敗は百年の計を誤ることにもなるのです。斯様な意味合からこの度は果樹の植付に當つて参考になると思われる諸点を拾つて書くことに致します。

一年生の蔬菜類ならば例え作付を誤つても損失は一年だけで済みましよう。しかし果樹のように多年生で、しかも木本といふことになれば果実を着けるのに短くて三、四年長いものでは十年の歳月を要します。

## 田 村 勉

後に述べるように薬剤による土の消毒を忘れよう心掛けねばなりません。

新植に当つてはまず土地の選定が大切で

うに考えられた向もあつたようです。これ

は瘠地に植えられた樹は成育が鈍く、若木

の中から良くな花芽が着き、果実はよくしまつて色着きが良いのでこのように見られた

です。しかし結局成木になるのが遅く、一般に収量が上らず、病害抵抗性も劣るの

であつて、これが改善のためには多大の努力を要します。ですから果樹も表土の深

い、肥沃地の方が栽培し

やすく、しかも生産費が低い

が、肥料の下落することも当然考ねねばならない

ことは、このようになれば土地条件の悪い

ところ程収量に比し生産量がかさむので経

営上の土地利用の面か

ら傾斜地、砂地等条件の

悪い部分が果樹に向けら

れることは御承知の

通りです。一例を示すと

「みかん類」は栽培面積

の約九〇%、ぶどうは約四〇%、りんごは

三〇%余りが傾斜地に作付されているのを見ても解ります。これは果樹は多年性で、

栽培距離が大きく、植付後漸次根が全園に

広がるので(長いものは十年近くを要する)

毎年少しづつ労力を注ぎ込んで土地改良を

することが出来ますし、更にまた木本であ

るため根の土中貫通力が大きく、同時に

肥料の吸収利用力も他の作物に比し優れて

いる等の利点を利用しているに過ぎない

のです。以上の通りで果樹は決して瘠薄地を

好む作物ではないことを十分認識してかか

らねば所期の成果を挙げることが出来ません。

次に土地選定上注意すべき点を列挙します。

## (1) 出来得れば平坦地でしかも肥沃など

ころがよい

前記の様に平地でしかも土地が肥えている程栽培が楽で収入も多くなります。殊に最近は果樹に対する関心が高まり、新植するものが増加してそれだけ生産量も増大し、価格の下落することも当然考ねねばならない

ところ程収量に比し生産量がかさむので経営上問題としては所有農地の立地条件あるいは他の作物とかわると

### 表紙写真の説明

#### 果樹園のマルチング(敷草) 北大果樹園にて

## 牧草と園芸 九月号 目次

### 表紙写真の説明

#### 果樹園のマルチング(敷草) 北大果樹園にて

- ◇果樹苗木の植え方について……………田村 勉
- ◇りんごの混植について……………高橋正治
- ◇果樹苗木のお知らせ……………八
- ◇りんご主要品種の解説……………六
- 梨と桃の主要品種の解説……………六
- 李、杏、櫻桃、ブドウその他の小果樹の品種解説……………五
- ◇庭園樹、公園、街路樹について……………五
- ◇果樹苗木特性並びに価格一覧表……………六
- ◇秋植球根草花の案内……………六

- 現状では蜜柑類、くり等は四五度近い傾斜地に作られているものも相当あります
- が、りんご、なし、ぶどう等の栽培には三〇~三五度位までが限度といえましょう。
- 傾斜度が高まる程栽培管理が厄介になり、生産費が嵩みます。
- 傾斜が十五度以下の場合は等高線植えにして十五度以上の急傾斜では階段畑にした方が土の流亡防止及び管理作業上便利です。

何れの場合も雨水による流土防止のため



した苗木は直に荷解きを行つて、若し乾いていれば直ちに一~二日位水に浸して吸水させた後植付時まで厳重に仮植えして置くべきです。荷造りしたままあるいは解いても多数の苗をしばつたまま浅く土に挿込んで置く程度ではいけません。

また仮植といえども十分根部に水をかけ、地上部にはコモ等を掛けて直射光線を遮る位の注意が必要です（特に春先はこれが大切です）

苗木を荷造りしたまま一~二週間も放置する等は最も苗木を冒瀆した処置といわねばなりません。

### 三 苗木の植付

#### (1) 植付時期

りんご、なしのよう落葉果樹（秋になつて葉の落ちる果樹）の植付時期は、晩秋落葉後から春新芽の伸出すまでの期間に行えばよいのです。その理由は葉が成育している期間であればいくら丁寧に扱つても相当量の根が切れるので、葉から蒸散作用によつて消失する水の補給が間に合わず、萎凋して衰弱し、甚しい時は枯死することになるからです。落葉期間中といつても真冬に植付は出来ませんので結局晩秋落葉後と早春の何れかに行うことになります。苗の立場から見ると秋植の方に利点があります。その一つは秋落葉後といえども植付後動にさきがけて根部の発育が開始され、ある程度土中に根が伸長していく根と土の馴染がよいので養水分の吸収が順調であつて、芽の萌出及びその後の発育が良好です。

今一つは秋は春先に比較して空中、土中共に水分が潤沢で旱害の心配が少ないのであります。同じ秋植でも時期は出来るだけ早いの

がよいので秋期苗が落葉するまでに至らなくて、葉柄の附根に離層が出来始めて葉が落ち易くなれば植付を行つてもよい訳です。

しかし東北地方や北海道等で積雪の多い地方は秋植付けると冬期雪害を受ける虞れがあり、また本道の中央以北等で例え積雪は少くとも気温が著しく低下し、地表下相当深部まで凍結するところでは根部が凍害を受ける心配が出て来ます。このよくなとのころでは秋乾燥することが少く、輸送その他取扱いが容易な時に苗を購入した完全な仮植をして置いて、翌春融雪後出来ただけ早く植え付けるのが得策です。道南地方においても比較的低温に弱い「ぶどう」「菓子くるみ」「うめ」「さくらんぼ」等を秋植えた場合は、大事をとつて根元に厚目に敷草するか、あるいは附近の土を七~八寸ばかり盛土して置くのがよい。勿論翌春は早く土を取除かねば地温が上らず根の伸長が後れるから注意が肝要です。

#### (2) 植付距離

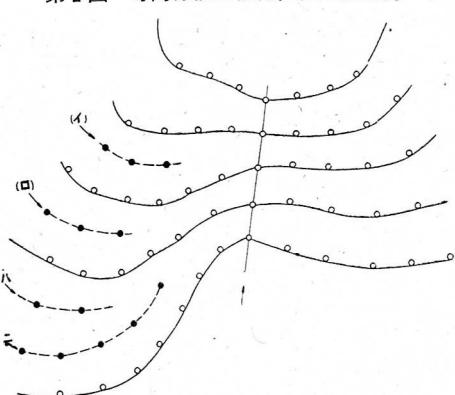
従来の栽培距離は各果樹共一般に近過ぎて栽培管理上密植の害に脅威されているというのが既設園の現状です。密植になるとどうしても枝先を強く刈込む結果になるので徒長枝が多くなり、果実を着ける結果枝の割合が減少します。更に枝が交錯し合って結果部への光線の投射が弱まる結果、果实の品質や着色を悪くし、更に病害虫の発生が多くなります。反対栽培本数が多ければそれだけ収量が増加するよう考へる人もありますが決してそうではありません。

ぶどうに例をとつて見ても寒冷地のぶどう栽培では棚下しの関係上オールバック式立ちが理想的と思われます。この場合には五間×二間あるいは五間×三間の栽培距離が適当ということになりましょう。何れにしても途中で間抜するものは最後まで栽培を続ける目的樹より小作りにして置くこととする決心が必要です。

#### (3) 植穴について

##### ① 植穴の決め方

第2図 等高線植の植付位置の決め方



傾斜の最も急なところで縦に正規の距離をとつて植付位置を決め、これを基準にして左右に等高線を引きその線上に所定の距離で全般的な位置を決定する。  
 ○印→植付位置  
 ●印→上下の距離が広いので適宜その部分に樹列をつくつたところ

第4表 主な果樹の植付

#### 距離の標準

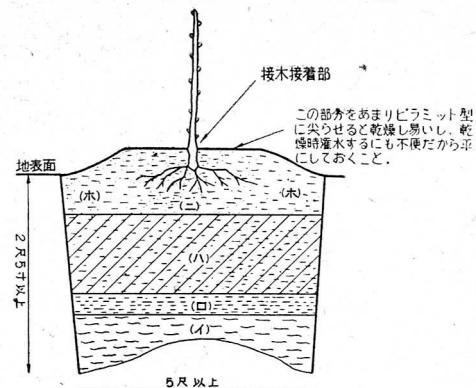
果樹名	植付距離
ごりなぶ	5間
りんご	4~5間
どらも	3~4間
ばらんば	4~5間
あんず	3~4間
すもも・すもも	すもも
うめ	うめ

急速な部分において、水平距離で正規の植付け位置を区画して後、それぞれの等高線を引いて、管理上支障がないところまで希望通り樹を高める事が出来、結果部位に上下の厚味がついて却つて增收を来すことになります。

傾斜地の場合には植付予定地の最も傾斜の位置を決定して短い棒切等を立ててその位置を決定して短い棒切等を立てて明示して置く必要があります。特に将来スピードスプレーヤー等の大規模機械を取り入れるような場合を考えるとこのことが大切です。

植穴の位置は多少位づけで大勢に影響しないで簡便に考へる人

第3図 植穴と苗木植付の模式図



その上に横の植付距離を測つて位置を決定します。(第二回参照)

そして2回①②のよう緩傾斜の部分で上下の距離が一定以上空いた場合は適宜樹列を増加するようにします。

### ② 植穴のつくり方

永年作物である果樹の根は横向向は勿論下方にも相当の深さにまで伸長します。

植穴は出来るだけ大きくて土の物理性をよくし肥料成分をも混入して置かねばなりません。これは悪条件の土地程十分考へねばならぬ事柄です。

一般果樹の植穴は(第三回)に示したよ

うに深さ二・五尺、直径五尺位は是非必要です。ただここで問題なのは地盤が粘土質で地下水が高く排水の悪いところではそのまま植付けても立派な果樹園にはならないし、植穴に地下水が溜まる場合もありますので、このような土地ではまず排水施設をしてからでなければ失敗は目に見えています。

老朽果樹園を更新する場合は種々の病原菌が土中に残っている(特に紋羽病菌がおそろしい)と見なければなりませんので土壤消毒の励行を勧めます。方法は植穴の準備が終了した後、穴の部分は勿論その周辺出来るだけ広範囲に亘つて、一尺一・五尺四方に一個の割合で径一寸内外深さ約一尺位の穴を空けてその中に盆に二分の一位宛の「クロールビクリン」を注入し直に穴を塞いで踏付けるようにします。クロールビクリンの他「ホルマリン」「二硫化炭素」等が用いられます。但し注意すべきはこれ等の薬剤を用いた場合は三~四週間後でなければ薬害がありますから、苗を植付ける訳にはいきません。特に一七~一八度以下の温度では土中に長く残つているから気を付けます。紋羽病菌に対しては有機水銀剤である「ウスブルン」「リオゲン」等の干細液を十分灌注するのもよいのです。この薬剤は使用後直ぐに植付けて差支えあ

### ③ 土地の消毒

いくら寧に苗木を取り扱つても根が相当量切断されますが、根と均衡を保たせるためと、苗木の先端に刺戟を与えて伸長を促し、更には適當な高さから主枝候補枝の発生を計る意味で苗木の先を一定の長さで切詰めます。この長さは果樹の種類あるいは栽培地の積雪の状態等によつて異なるので概にはいえません。りんご、なしでは地上二・五尺~三尺、ぶどうでは蔓の充実度で違うが一・五尺内外に切詰めて植付けます。

(5) 植付の深さ

(第三回)に示したような植穴で中に入れ粗大有機物の量が多ければ多い程、植付後降雨毎に土が沈下する度合が大きいから盛土を多くして高目に植付けるようにします。でないとすから土が落付いた時には根の活動が鈍く苗木の発育が甚だ不良になります。苗木植込みの深さは大体接木の接着部が地表面付近に存在するようになりますのがよろしい。勿論砂地、傾斜地など乾燥する土地では一般よりいく分深目に植えるのが無難です。植穴の土を落付かせる点及び老木果樹を更新するような場合、八、九月にかけて園地を整備し、

### 五 植付後の管理

苗木を植付けた後は倒伏させぬように当ガッチャリした支柱を与えるべきです。根曲竹を一本立ててフラフラさせて置いたのではありません。ぶどう等は動搖が激しくと伸長しつつある新蔓に傷がついたりして甚だ発育が阻害されるものです。

植付後も乾燥が最も禁物ですから敷草を行ひ、日照が続くようであれば忘れずに灌水することです。活着の悪い原因が案外植付後の乾燥による場合が多いものであることを銘記せねばなりません。

また山間部等で冬期間野鼠、野兔による被害は苗木が小さい程甚だしいものです。これの的確な防除法は今のところ見当らぬようですが、フラートール等による協同防除に相当期待が持てます。最近の話では、石灰乳にホリドールを半分の(一斗にホリドール一勺)の割合で混合したものを幹部に塗布すると著効があるとのこ

### (4) 植付の注意

#### ① 根と地上部の切方について

同時に、養分の貯蔵所でもあるので出来だけ切らぬよう、また傷めないようにせねばなりません。輸送中に折損して来たような部分はそこで切返しを行つて旺盛な新根の発生を促すようにします。苗木の根は細根の数の多いものが良好ですが中には太い根が二~三本長く伸びているようなものを見掛けます。このような根は細根の発生を促し、また植付時、根の配置を容易にするために適宜切詰めるのがよいが、それにしてても切除する量は最少限度に止めるべきで

購入後直ぐに植付けるもの、あるいは仮植えしてあつたものの何れを問わず、苗木は乾燥を最も嫌うから、極端な乾燥の時には水分を十分与えて吸水させて後植付けるがよろしい。また植穴までの運搬に当つても根部をビニールや漏庭等でくるむべきであります。光線は勿論、春先の乾燥した風は全く禁物です。特にぶどうの根は乾燥に弱いものです。

植穴を掘つて苗木が直ぐ植付けられるように準備し、土の消毒を行つて(側に成育している樹のある場合、クロールビクリンなどを用いると一尺から三尺以内では根が枯死するから注意すること)置いて、翌春土が落付いたところで植付けるのが理想的です。(この際遠方から苗木を購入するよう場合は秋に購入して仮植して置くのがよい)